

子どもの命を救い、蘇生後のQOL改善のためには、予防を含めた小児一次救命処置が大切です。医療関係者だけでなく一般市民をも対象として、新しい心肺蘇生の方法とAED(自動体外式除細動器)の使用法についての講習会がしばしば開催されています。

AED(自動体外式除細動器)とは電気ショックが必要な心臓の状態を判断できる心臓電気ショックの器械です。AEDを自宅、学校、職場、たくさんの方が集まる公共の施設など様々な場所に置き、AEDを使うことで、突然死を防ぐことができます。

救急蘇生の手順としては、肩を軽く叩きながら大声で呼びかけて、何らかの応答や仕草がなければ、「反応なし」とみなして、その場で大声で叫んで周囲の注意を喚起します。子どもでは呼吸原生の心停止が多いために、救助者が一人の場合には、119番通報やAEDよりも、気道を確保し胸骨圧迫による人工呼吸開始の方を優先します。しかし、突然の不整脈の危険性の高い子どもをもつ親などには、心原性心停止を想定した蘇生手順をも指導します。

是非、子どもの突然死を防ぐために、心肺蘇生の方法を学んでおいてください。